



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

8・9月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】(8月) ボランティヤ
【宣教】(9月) 若者に機会を
【日本の教会】(9月) 社会の隅に追いやられた人々
カテキスタ
【日本の教会】(8月) 戦争の記憶と平和
(9月) 高齢者の尊厳

福岡地区信徒協主催
《平和を祈る集い》

「今こそ、武力によらない平和を」

7月5日(日)、大名町教会にて「平和を祈る集い」(主催…福岡地区信徒協協議会)が開催された。同時開催企画として「ジュード神父の子どもたちへの『平和授業』」も行われ、2つの会場あわせて約250人が集った。戦後70年にあたり発表された司教団メッセージ「平和を実現する人は幸い」今こそ武力によらない平和を」をうけ、また昨今の社会の動きを憂慮してか、参加者は講話に真剣に耳を傾けた。子どもたちも「平和って何ですか?」との問いかけにそれぞれに学びを深めた。

この集いは戦後50年にあたる1995年から始まり、今回で20回を迎えた。

第1部は宮原良治司教による「戦後70年司教団メッセージ」(本紙7月号1面に要旨を掲載)についての講話。このメッセージが「政治的イデオロギーに基づく姿勢」ではなく、キリストの使徒・弟子として御国を建設するものとしての使命として発表されたことを確認。「現代の人々の喜びと希望、苦悩と不安、ともに」

この言葉は鍵に、《平和の共同体》の構築について語った。木村氏は戦争を取り巻く社会状況の推移、先端軍事技術によって生まれた現代の戦争の形などについて触れた後、『もし、侵略されたらどうするか』との質問に宗教者はいかに応えるか』として、話をした。

第2部は木村公一牧師(西南学院大学・福岡大学非常勤講師)による「イエスの福音から学ぶ平和」といのかを生きたる社会づくり」と題した講演。アイデンティティ(木村氏は「生の基軸」とする)

質疑応答では「政府に対して教会はどのように働きかけるのか」「戦争をしなけれなくても非暴力を貫けるのか、アメリカに助けを求めらうしかなのか」などの質問も寄せられた。これを受け、両講師はあらためてキリスト者としての歩み方に聴衆を招いた。また木村牧師は「神さまの立ち入り禁止区域」をつくることなく、社会問題に関わる大切さを説いた。

「ジュード神父の子どもたちへの『平和授業』」には、9小教区より約120人の幼児から中学生までの子どもたちと、教会学校のリーダーや保護者が集った。P・ジュード神父(古賀教会主任)が「平和って何?」と問いかけた。



「ジュード神父の子どもたちへの『平和授業』」には、9小教区より約120人の幼児から中学生までの子どもたちと、教会学校のリーダーや保護者が集った。P・ジュード神父(古賀教会主任)が「平和って何?」と問いかけた。

「ジュード神父の子どもたちへの『平和授業』」には、9小教区より約120人の幼児から中学生までの子どもたちと、教会学校のリーダーや保護者が集った。P・ジュード神父(古賀教会主任)が「平和って何?」と問いかけた。



「平和授業」を受ける子どもたち

「ごすこと」などの答えが読み上げられた。

スリランカ出身のジュード神父は戦争体験者。「社会で語られる平和」と「聖書のなかで語られる平和」について区別し、子どもたちに平和についてやさしく語った。

両会場とも「日本カトリック正義と平和協議会『武力によらない平和を』憲法キャンペーン」のテーマソングとなつて『平和の大作』を歌い、閉会した。

福岡地区信徒協の青木篤孝会長は「私たちは長崎にいた(永井隆編著)より下記の永井誠一の言葉を引用し、閉会の挨拶とした。『刀をふり上げてぼくを切るうとする人から、刀をもぎ取るもよいが、もぎ取ろうとして、恐ろしい争いが起こりがちなものです。刀を持たせたまま、柔らかに胸に抱きこむ勇気を知恵を、ぼくはほしい。』」

「けんかがないこと」「ごはんを食べたり、寝たりできること」「心がおちついていいること」「家族といっしょにいること」「ともにいっしょにやること」

時の話題

平和の願いと祈り

今年、戦後70年、第二バチカン公会議後50年の記念の年に当たります。悲慘な敗戦を経て不戦の理念を掲げた憲法のもとで、日本は人間のいのちと尊厳に仕える平和な

と、集団的自衛権、特定秘密保護法、有志連合による自衛隊派遣など法制化を急いでいます。この政権の動きには、あの忌まわしい残酷非道な戦争の記憶を思い起こさせる嫌な予感がよぎります。一方、産業界金融界はグローバル化の名のもとに、世界市場へ進出して富と権力を集中化する企業行動自由化主義を推進しています。そのため短期雇用制へと法制化して柔軟な運用を計り、国際市場での優位性を確保する狙いです。その結果、主役が「経済」に置き換えられ、「人権」が経済に従属して、人間のいのちと尊厳が軽視され、貧富の差が拡大し、小規模企業や農業が弱体化し、家

庭崩壊が始まり、離婚率が拡大し、子育てのしにくい時代が来るでしょう。私たちカトリック教会の教えは、武器による平和ではなく忍耐と理解と許し合う平和です。教会共同体は、時局を直視し、政治や社会を導く指導者のために必死に祈る必要があります。社会の安定と秩序を保つ責任は、彼らと共に教会共同体に委ねられています。社会に渦巻く「暗黒の霊」は強力です。キリストの体を完成するために一つになつて祈り働きましょう。「不法と不義を警戒して折れ。」(第2テサロニケ2:3-6)

行橋教会信徒 追立季治

一小教区の広報担当者をつなぐ
大名町教会で「集い」



福岡教区の各小教区で教会報の編集やホームページの運営に携わっている広報担当者の集いが6月28日(日)、大名町教会で開かれた。担当者同士のつながりを深めるとともに、教会における広報の役割について意識の共有を図るのが目的で、今回が初の開催。19小教区と女子パウロ会、男子パウロ会から約40人が参加し、それぞれの思いを分かち合った。このうち、帯山教会(熊本市)など遠隔地の2人はインターネットを利用したテレビ電話で参加した。

集いではまず、教会のさまざまな現場でどのような広報(情報伝達)の工夫がなされているかを調べるワークショップを実施。参加者は①大名町教会の外の掲示板②同教会の1階ホール③同教会の2階聖堂・受付付近④各教会の小教区報⑤各教会の教区報⑥大名町教会に併設された女子パウロ会の書店「セントポールFUKUOKA」⑦各教会のホームページの7グループに分かれ、実地見学を行った。

その後の分かち合いで、参加者からは「掲示板に多種多様な情報が張られていたが、あれだけ多いと逆に目に入りづらい」「掲示する情報の内容を、教会の内部と外部で信者向けと一般向けに区別する工夫が必要」「ホームページは未信者の方も多く目にする。そういう方のための情報をいかに発信していくかが課題と感じた」等の意見が出た。こうした声を受け、下町豊重神父(教区情報センター委員長)が「各小教区で尽力しておられる様子が窺えて、嬉しく思った。小教区の広報担当者がつながり合い、協力し

合つことによって、福音はより広く伝わっていく。引き続きネットワークをしつかり築いてほしい」と述べ、集いを結んだ。今回の集いに先立ち、福岡教区では各小教区の広報担当者に対するアンケートを実施(回答:34小教区)。小教区によって広報担当者がいないか、信仰の見直しも考慮され、教理(カテケシス)もなされる場合も少なくない。それは、結婚相手にもカトリックのことを理解してもらい、信者が信仰を守っていくことを認めてもらいたいとする理由もある▼教会離れしていても、カトリックの信仰を理解していないとか信仰を公に表現できない若者は多い。大切な時期に「信仰を学ぶこと」を怠ったり、「学んだことを証すること」の体験を逸したことの証拠である。また、周りの大人が「信仰の伝達」を怠ったことの証である。大人になつてあわてふためき、主が望まれない道を歩んでいくことがないように、大切な時期に信仰の栄養が蓄えられるように積極的な協力を。

司祭人事異動
◆武雄・多久教会主任司祭
P・スタン神父 退任
(7月25日付)
◆武雄・多久教会管理者
青木悟神父(教区本部主管・事務長兼任) 就任
(7月26日付)

若い女性が、「おばあちゃんと言うので、結婚式を教会でと思つて」と電話してくる。「分かりました。結婚講座を受けることになっていいますので、二人そろって来てください」と司祭は答える。すると、「時間が取れるかどうか」と彼女は言う。そこで「はい、分かりました。時間を作って教会に来るようにします」と言ってくれれば、「この人の信仰維持のために、私も時間を作って準備しよう」と司祭は思うのだが、昨今は結婚についても教会の教えに耳を傾けなくなっている若者は多いようだ。信者であれば、神の代理者としての司祭の前で結婚式をすることになっている。準備として講座を受け、教会での式がどんな意味を持つのかとか、結婚の目的や意味を理解した上で、神によって、人々の前で絆を結ぶのである。講座の中には、信仰の見直しも考慮され、教理(カテケシス)もなされる場合も少なくない。それは、結婚相手にもカトリックのことを理解してもらい、信者が信仰を守っていくことを認めてもらいたいとする理由もある▼教会離れしていても、カトリックの信仰を理解していないとか信仰を公に表現できない若者は多い。大切な時期に「信仰を学ぶこと」を怠ったり、「学んだことを証すること」の体験を逸したことの証拠である。また、周りの大人が「信仰の伝達」を怠ったことの証である。大人になつてあわてふためき、主が望まれない道を歩んでいくことがないように、大切な時期に信仰の栄養が蓄えられるように積極的な協力を。

若い女性が、「おばあちゃんと言うので、結婚式を教会でと思つて」と電話してくる。「分かりました。結婚講座を受けることになっていいますので、二人そろって来てください」と司祭は答える。すると、「時間が取れるかどうか」と彼女は言う。そこで「はい、分かりました。時間を作って教会に来るようにします」と言ってくれれば、「この人の信仰維持のために、私も時間を作って準備しよう」と司祭は思うのだが、昨今は結婚についても教会の教えに耳を傾けなくなっている若者は多いようだ。信者であれば、神の代理者としての司祭の前で結婚式をすることになっている。準備として講座を受け、教会での式がどんな意味を持つのかとか、結婚の目的や意味を理解した上で、神によって、人々の前で絆を結ぶのである。講座の中には、信仰の見直しも考慮され、教理(カテケシス)もなされる場合も少なくない。それは、結婚相手にもカトリックのことを理解してもらい、信者が信仰を守っていくことを認めてもらいたいとする理由もある▼教会離れしていても、カトリックの信仰を理解していないとか信仰を公に表現できない若者は多い。大切な時期に「信仰を学ぶこと」を怠ったり、「学んだことを証すること」の体験を逸したことの証拠である。また、周りの大人が「信仰の伝達」を怠ったことの証である。大人になつてあわてふためき、主が望まれない道を歩んでいくことがないように、大切な時期に信仰の栄養が蓄えられるように積極的な協力を。

今村天主堂が正式に
「国の重要文化財」として登録!
(2015年7月8日付)

神学生の養成担当者集う 福岡コレジオ祭



6月30日(火)、7月1日(水)の2日間、福岡コレジオ(福岡市中央区浄水通・院長 山村憲一神父)において「コレジオ祭」が開かれた。院長および副院長、長崎教会管内の5教区(長崎・福岡・大分・鹿児島・那覇)の司教と養成担当司祭とが福岡コレジオの現状を分かち合うこと、および、在籍している神学生との交流の場を持つことを目的として行われ、今年で2回目の開催となった。神学生たちの家族も駆けつけ、総勢37人が一堂に会した。

1日目の会議には、院長および副院長、5人の司教と7人の養成担当司祭とが福岡コレジオの現状を分かち合うこと、および、在籍している神学生との交流の場を持つことを目的として行われ、今年で2回目の開催となった。神学生たちの家族も駆けつけ、総勢37人が一堂に会した。

2日目は、6時前から朝の祈りを唱え、続いて鹿児島教区・郡山健太郎司教司式によるミサを捧げ、朝食を済ませ解散した。

福岡で初めての同会主催の黙想会。5人の女性信徒が参加した。「奉獻生活ってどういうこと?」「自分の置かれている立場結婚生活や職場でどのように奉獻生活のエッセンスを生きていくことができる?」などの問いをもつ参加者に応えるように、澤田神父は「奉獻生活」について修道生活の歴史を紐解きながら解説した。「奉獻生活」の原語は「聖別された生活」。「神は私たちが特別な役割のために選び、めぐみをあたえる」という視点が肝要だと語る。また、「召命」について考えるときに「司祭・修道者」に招かれているか否か「ではなく、「私はどのような召命・使命をうけているのか」と信徒一人ひとりが問うことが大切だという。

午後にはマルコによる福音書5章21節〜43節の「ヤイロの娘とイエスの服に触れる女」を読み、信仰の力強さ・神秘について黙想した。

「奉獻生活の神秘は、わたしたちとのかかわりの中で救いのわざを実現しようとする神のみに土台を置くもの。わたしたちが自分を空っぽに

神のはたらきに任せて...



チャペルにて祈りをささげる参加者

7月12日(日)、聖パウロ修道会福岡修道院にて聖マリア・アンヌンチアータ会主催

「お母さんが焼け死ねん、助けて」

戦後70年 被爆者の証言から思うこと ②

長崎の被爆者、Tさんは聞き取りをした時、93歳だった。目もほとんど見えず耳も遠かったが、その話しぶりは実にしっかりとしたものだった。爆心地から1・3キロの地点で被爆。32歳のときだった。Tさんは超高齢であったが、その記憶は実に鮮明だった。彼女は「どうして忘れることなんかできましようか」と繰り返した。

Tさんは原爆の直撃を受けてから破壊された自宅に戻るまでの道中で体験したことを、実に生々しく語ってくれた。とりわけ、燃えていく母親と助けを求める女の子に話

やみ続けたという。これが「生存者の罪意識」(サブバイバズギルト)というもののなかの。この体験が契機となって、Tさんはホームに入所してから「語り部」活動をするようになり、インタビュー時も続けていた。

原爆被爆という問題は決して70年前に終わってしまった大惨事なのではない。今も、その苦しみや不安、悲嘆は被爆者の中で現在時制のまま続いている。当時、死体を焼いた臭気が鼻について離れず、今も満員バスに乗れない人写真のフラッシュでさえ、怖くて目を背けてしまう人、原爆の日が近づくと眠れなくなってしまう人、ちよつとした湿疹に、今も原爆症を疑っ

(西新教会信徒・生命倫理、ホロコースト研究者 澤田 愛子

隠れキリシタンの里(天草)で巡礼キャンプ

佐賀教会学校



7月19日から20日にかけて、佐賀教会の教会学校は今や国の重要文化景観地である天草の崎津教会(主任司祭 渡辺隆義神父)を拠点に巡礼キャンプを行った。参加者は子どもたち11人、リーダーたち9人であった。

台風一過の好天に恵まれた夏の天草は皆を魅了した。崎津教会到着前にイルカウォッチングで感動し、透き通った海で海水浴を楽しみ、到着後の夕食では崎津教会の信者が準備してくれた海の幸を堪能した。花火をして、寝る前の祈りを唱え、翌日のことに思いを馳せ、興奮しながら就寝した。

二日目は朝早く起床し、崎津教会の信者と共にミサと朝の祈りを捧げ、朝食を済ませて、大江教会と口ザリオ資料館に寄り、海水浴を楽しんだ後、天草四郎メモリアルホールなどを見学し、帰途に着いた。行き帰りのバスの中では、口ザリオの祈りや聖歌を歌ったり、クイズをしたりして信者としての仲間意識を強く持った。

二日間の短い巡礼キャンプであったが、天草の信者のおもてなしに感謝し、キリシタンの歴史と文化、伝統、そして今も続く熱心な信仰心に触れ、言葉に表せないほどの恵みを感じることができた。参加者は来年の世界遺産の候補地の崎津集落に来年も行きたいと話していた。

北九州地区「イエスに倣って生きる」聖書講座



今年度北九州地区の第3回目となる聖書講座が7月5日(日)、小倉教会にて行われた。年間テーマは「イエス・キリストに従って歩む教会」ヨハネによる福音書に照らされて。毎回異なる司祭を講師に迎え、聖書を通して「イエスに倣って生きる」ことについて学ぶ。

この日は、ルイ・ベリオン神父(行橋教会主任)を講師とし、約100人が参加した。いつものように聖歌と共に講座が始まる。

「ヨハネ福音書からイエスの7つのしるし」と題された講話で、ヨハネ福音書から

れた講話で、ヨハネ福音書からみ言葉を皆で味わい、そこに示される「しるし」についてひも解いていく。

例えば「ベトザタの池で病人を癒す」(ヨハネ5章1〜18節)では、イエスが病人に「良くなりたか」と尋ねた言葉のうちに、「体だけでなく」健全なものになりたいか」との意味がある。また、癒された人は「安息日に律法で禁止された行為」にもかかわらず、「イエスの指示に従って」床を担いで歩いていく。つまり、イエスに生き、イエスを証しているなど、あれもこれも伝えたいベリオン神父の情熱がひしひしと感じられるあつという間の3時間だった。最後に「聖書をよく読んでください」と師は訴えた。



☆秘跡・聖霊のたまもの・教会・教皇講話集

カトリック中央協議会事務局編

「七つの秘跡」「聖霊のたまもの」「教会」

という、2014年以内に一般謁見で行われた三つの連続講話を収録。独特のユーモアと温かさをもって信仰生活の意と本質が平易に解説されるところに、使徒的勧告「福音の喜び」で教皇が訴えた数々の主題が、随所に力強く語られる。

ペトロ文庫発行
価格650円＋税

☆友情セラピー

友情は、豊かで充実した生活のために必要不可欠なものである。思慮深く心を高め、くれる本書の手引きによって、友情を温め、親密な友に恵まれますように...

サンパウロ発行
税込み価格756円

☆YOU CATER 堅信の秘跡

ベルンハルト・モイザール／ニルス・ベール編集

カトリック中央協議会事務局訳

青年向け力強いテキスト

「YOU CATER」の姉妹編。堅信に向けて勉強を始める若者への最良のガイドブック。平易な表現の文章に個性的なイラストや美しい写真が多数添えられ、目でも楽しみつつ学べるテキスト。

カトリック中央協議会発行
価格900円＋税

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

信仰の伝達

カテドラルでのゆるしの秘跡
日 時：8月1日、22日、9月5日、19日、
10月3日、17日、31日 10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡黙想の家ご案内 8・9月

【8月】
1日(土)～2日(日) 福岡雙葉学園宗教プロジェクト (空室0)
3日(月)～4日(火) カトリック学校中堅教職員研修会 (空室0)
7日(金)～16日(日) 純心聖母会黙想会 (空室0)
17日(月)～24日(月) ヨファの幼きイエズス会黙想会 (空室5)
24日(月)～25日(火) 幼きイエズス会(コナリ)黙想会 (空室20)
30日(日)～9月4日(金) オブレート会黙想会 (空室0)
【9月】
7日(月)～12日(土) 御受難修道会黙想会 (空室10)
12日(土)～13日(日) 聖マリア在俗会黙想会 (空室10)
20日(日)～21日(月) 第50回九州アシュラム (空室10)
26日(土)～27日(日) 福岡雙葉学園宗教プロジェクト (空室0)
28日(月)～10月7日(水) 福音の光黙想会 (空室10)

*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

召命キャンプ

日 時：8月17日(月) 13時半～18日(火) 12時半
場 所：カトリック今村教会
対 象：小学3年生～中学3年生(男子)、定員40名(先着順)
テーマ：モーセの召命
参加費：1,000円
申し込み・問合せ先：谷口尚志神父 ☎092・534・4600
申込〆切：8月10日(月)

北九州地区 聖書講座

年間テーマ：イエス・キリストに従って歩む教会
～ヨハネ福音書に照らされて～

日 時：9月6日(日) 14時～16時30分
場 所：カトリック小倉教会
テーマ：ヨハネによる受難、死、復活
主 催：北九州地区信徒協聖書部会

第12回聖霊による刷新 九州大会

日 時：9月21日(月) 13時半～23日(水)
場 所：カトリック手取教会
テーマ：「最愛の弟子の祈り」
講 師：マッケイ・フランシス神父(聖コロバン会)
会 費：一日2,000円
問合せ先：堺 ☎& FAX096・380・5686
申込〆切：8月15日(土)

福岡地区 結婚講座

日 時：9月19日(土)～10月17日(土)
毎週土曜日 18時半～20時半
場 所：カトリック大名町教会
参加費：カップルで10,000円
問合せ先：大名町教会 ☎092・741・3687
※ カップルでの参加が原則

2015 Canossa Youth Day in 九州

日 時：10月10日(土) 15時～12日(月) 15時
場 所：おおむたハイツ(大牟田市甘木山)
対 象：18歳以上の青年男女
テーマ：信徒発見150 私は何を見つける
参加費：3,000円
申し込み先：カノッサ修道女会 ☎03・3329・3364
Email: canoyouth@gmail.com
申込〆切：9月15日(火)

11月3日(火・祝)「召命の集い」
11月23日(月・祝)「福岡教区の日」
皆さんの参加をお待ちしております!!

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

9月のこよみ

案 内 板

会合と催し

8月のこよみ

■ゴチックは司教日程

3日(木) 聖グレゴリオ一世教皇教会博士 常任司教委員会
4日(金) 初金ミサ・サリスの集い
5日(土) カトリック幼児教育教職員養成プログラム
†H. ハンター(2010年 大江教会)
年間第23主日 †D. ギル(2008年 手取教会)
7日(月) †フランシスコX. 牧山重光(2005年 門司港教会)
8日(火) 聖マリアの誕生 司祭評議会・教区本部会議
†デバイン(2009年 人吉教会)
†フランシスコX. 山田成章(2013年 茶山教会)
10日(木) 日本205福者殉教者 †J. パーク(2000年 崎津教会)
12日(土) †A. セトアイン(2003年 泰星学園)
13日(日) 年間第24主日
14日(月) 十字架称賛
15日(火) 悲しみの聖母
16日(水) 聖コルネリオ教皇・聖チブリアノ司教殉教者
マカオ巡礼(～19日)
年間第25主日
20日(日) 聖マタイ使徒福音記者
21日(月) 聖ピオ司祭 聖霊刷新運動九州大会ミサ(手取教会)
†J. バイヨ(2004年 光丘教会)
24日(木) †367深堀敏司教(2009年 高松教区長)
26日(土) 諸宗教対話セミナー
27日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)
28日(月) 聖トマス西と15殉教者
29日(火) 聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
30日(水) 聖ヒエロニモ司教教会博士

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
・日 時：9月10日(木) 10時～14時半 (8月はお休み)
・内 容：詩編23
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次 回：10月8日(木) 詩編42
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
玉名郡和水町蜷浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

◆8月11日(火) ミサ6時半から 夕の祈り19時から(場所) 女子パウロ会本部聖堂(東京) ◆9月11日(金) ミサ6時40分から 夕の祈り17時半から(場所) 聖心のウルスラ宣教女修道会福岡修道院聖堂(問合せ先) ☎090・2305・5191
◆5・5191 Br.阿部(パウロ会) ◆ラスキン・黙想と祈りの集い(日時) 8月28日/9月25日(金) 19時45分から(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎090・2305・5191
◆Br.阿部(パウロ会) ◆典礼聖歌研修会(日時) 9月6日(日) 14時から(場所) 光丘教会(テーマ) 典礼暦と典礼聖歌(問合せ先) ☎092・541・3730 松山

◆福岡ホスピスの会 勉強会(日時) 9月13日(日) 14時～16時(場所) 大名町教会4階会議室(講師) 市丸悦子氏(テーマ) ホスピス病棟の現場から(参加費) 会員500円 一般1000円(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
◆カルメル在世会集会(日時) 9月14日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話(指導) 中川博道神父(カルメル会)(問合せ先) ☎095・828・2350 鶴池
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 9月15日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容) グレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先) ☎096・380・5686 堺
◆虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時) 9月19日(土) 14時～16時半(場所) 大名町教会3階会議室(参加費) 600円(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
◆在世フランシスコ会集会(日時) 9月20日(日) 14時場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集会所(指導) ジョーンソン神父(カプチン修道会)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆聖パウロ協力者会黙想会(日時) 9月27日(日) 12時半受付(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 吉田圭介神父(聖パウロ修道会)(問合せ先) ☎092・721・2031 百村等神父
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分 ◆ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ◆路上からアパートに居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父
◆北九州 加賀山隼人に出会う集い(日時) 8月23日(日) 13時半から(場所) 小倉教会信徒会館1階指導 安東邦昭氏(内容) 勉強会と分かち合い(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田
◆北九州召命を共に祈る会(日時) 9月10日(木) 14時から(場所) 聖母訪問会新田原修道院(内容) お祈りと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
◆レクチオ・デイヴィナ(日時) 9月27日(日) 14時場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばを読む

◆熊本 熊本地区召命を共に祈る会「召命を考える集い」(日時) 9月27日(日) 14時から(場所) 健軍教会(問合せ先) 健軍教会 ☎096・368・2825 浦川務神父
◆浄水通教会 FAX番号を新設 ☎092・791・8499
◆セントポール FUKUOKAより特別休業日のお知らせ ◆8月10日(月)～12日(水)

1日(土) 聖アルフォンソ司教教会博士
2日(日) 年間第18主日・馬渡島教会堅信式
3日(月) 教区カトリック学校中堅教職員研修会(～4日)
4日(火) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭
5日(水) 広島平和祈願の集い
†ベトロ平田三郎司教(2007年 第4代教区長)
主の変容 広島原爆・戦争犠牲者追悼ミサ
日本カトリック平和旬間(～15日)
初金ミサ・サリスの集い
†J.P. ラベル(2004年 大神学院)
8日(土) 聖ドミニコ司祭
司教霊名の祝いミサ(大名町教会)・小神学生練成会
年間第19主日
9日(日) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
10日(月) 聖クララおとめ
11日(火) †B. クレアリー(2005年 人吉教会)
13日(木) 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者
14日(金) 聖母の被昇天 和田墓地ミサ
年間第20主日 ご聖体永久礼拝20周年ミサ(手取教会)
16日(日) 召命キャンプ(今村教会)
†ミカエル堤要吉(2002年 浄水通教会)
17日(月) 聖ベルナルド修道院長教会博士
18日(火) 教区幼児教育連盟研修会(熊本・～21日)
†L. デシャンブ(2001年 八王寺教会)、
†D. グリフィン(2001年 玉名教会)、
†ユスティ/三村邦明(2012年 久留米教会)
19日(水) 聖ピオ十世教皇
20日(木) 天の元后聖マリア
21日(金) 年間第21主日
22日(土) 聖バルトロマイ使徒
23日(日) 司祭研修会(～26日)
†フランシスコX. 堤敏雄(2011年 飯塚教会)
24日(月) 聖モニカ 福岡地区カトリック女性の会・モニカ祭
25日(火) 聖アウグスチヌス司教教会博士
洗礼者聖ヨハネの殉教
26日(水) 年間第22主日 †J. ガイヤール(2007年 水巻教会)

◆福岡 和田墓地 納骨堂解放日
8月13日 10時～15時
8月14日 10時～15時
8月15日 10時～15時
追悼・納骨式ミサ14時

◆聖パウロ協力者会黙想会(日時) 9月27日(日) 12時半受付(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 吉田圭介神父(聖パウロ修道会)(問合せ先) ☎092・721・2031 百村等神父
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分 ◆ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ◆路上からアパートに居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

◆北九州 加賀山隼人に出会う集い(日時) 8月23日(日) 13時半から(場所) 小倉教会信徒会館1階指導 安東邦昭氏(内容) 勉強会と分かち合い(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田
◆北九州召命を共に祈る会(日時) 9月10日(木) 14時から(場所) 聖母訪問会新田原修道院(内容) お祈りと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
◆レクチオ・デイヴィナ(日時) 9月27日(日) 14時場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばを読む

◆熊本 熊本地区召命を共に祈る会「召命を考える集い」(日時) 9月27日(日) 14時から(場所) 健軍教会(問合せ先) 健軍教会 ☎096・368・2825 浦川務神父
◆浄水通教会 FAX番号を新設 ☎092・791・8499
◆セントポール FUKUOKAより特別休業日のお知らせ ◆8月10日(月)～12日(水)

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930

9月号は休刊です。
編集後記
蝉時雨、広島で参加した平和記念式典を思い出す。平和の元后聖マリア、私たちのために祈りください。(H)

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリーホール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリーホール
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

片柳弘史神父 講演会
テーマ: マザー・テレサからの贈り物
日時: 9月26日(土) 14時～16時
場所: カトリック大名町教会
スペシャルゲスト: RIEさん 入場無料
主催: カトリック福岡司教区 宣教企画推進部
問合せ先: 教区広報室 092-522-4059
どなたでも、お気軽にご参加ください。